



物理学第二教室 談話会

SO(10)大統一理論の現象論

山田 敏史

(京都大学大学院理学研究科)

日時:2021年 12月 9日(木)

15:00 ~ 16:30

場所:理学研究科 北棟 第2講義室

(Room:363, Building:North)

+オンライン (Zoom) のハイブリッド開催

(Zoom 情報は世話人に問い合わせして下さい)

概要:

SO(10)大統一理論は、SU(5)大統一理論と「バリオン数-レプトン数」対称性を内包し、U(1)電荷量子化の起源やニュートリノ微小質量の生成機構を統一的に説明できる魅力的な理論である。また、一世代のすべてのクォーク・レプトンと右巻きニュートリノが単一の表現に入るという特徴を持ち、クォークとレプトンのフレーバー構造を結びつける。本講演は、SO(10)大統一理論の現象論に焦点を当て、陽子崩壊に関する予言や、レプトンのフレーバー混合、特にニュートリノ振動のディラック位相についての予言を議論する。

世話人:中家剛(高エネルギー物理研究室)

t.nakaya at scphys.kyoto-u.ac.jp (at は@)